

異文化コミュニケーション研究所2010年度活動概要 <2010.4～2011.3>

雑誌名	異文化コミュニケーション研究
巻	23
ページ	251-254
発行年	2011-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1092/00001057/

異文化コミュニケーション研究所

2010 年度活動概要

〈2010.4～2011.3〉

研究プロジェクト

- 変容する異文化接触場面とグローバリゼーションの行方
代表：サウクエン・ファン
- ビジネス・エシックス
代表：ギブソン松井佳子
- 東アジアの経済統合をめぐる人の移動
代表：奥島美夏
- 国際文化振興会と「幻の英文日本百科事典」
代表：和田 純
- 戦後日本政治と外交
代表：和田 純

委託調査プロジェクト

国立公文書館アジア歴史資料センター委託「日本国内所在の主要アジア
歴史資料」調査
代表：和田 純

学内講演会

- 第 63 回 (5 月 27 日) 〈シリーズ：多文化共生の未来とジレンマ〉
「第二言語としての日本語 (JSL) 教育の考え方・進め方——千葉県の公立中学校の現場から——」
松本光弘 (千葉県八千代市立睦中学校教頭)
- 第 64 回 (5 月 28 日) 〈シリーズ：親密圏の異文化問題を考える〉第 3 回
「急増する国際結婚、なぜ？」

李洙任(龍谷大学経営学部教授)

- 第65回(6月11日)〈シリーズ: 親密圏の異文化問題を考える〉第4回
「留学生と一緒に本音で語ろう! 国際結婚を考える: 異文化間コンフリクトの視点から」

アンナ(本学留学生別科学生・スペイン出身)

チュック(本学留学生別科学生・ベトナム出身)

フリッツ(本学留学生別科学生・インドネシア出身)

田邊知恵美(本学英米語学科学生)

小谷野早織(本学英米語学科学生)

藤本真央(本学スペイン語学科学生)

- 第66回(6月21日)「日本の外資系企業で働くために: 採用担当マネージャーからの提言!」

カロリーナ・グリューンシュロス(ヘンケルジャパン株式会社/
採用・研修部門マネージャー)

- 第67回(10月6日)「異文化コミュニケーションと通訳翻訳」

小坂貴志(本学外国語学部英米語学科准教授)

- 第68回(11月5日)〈シリーズ: 親密圏の異文化問題を考える〉第5回
「留学生と一緒に本音で語ろう! 異文化体験とアイデンティティ」

セロム(本学留学生別科学生・韓国出身)

オフ(本学留学生別科学生・タイ出身)

ヴィ(本学留学生別科学生・ベトナム出身)

秋山未希(本学英米語学科学生)

藤村千絵里(本学英米語学科学生)

関口里穂(本学英米語学科学生)

- 第69回(11月19日)「永井荷風の東京再表現戦略: 現実的かつ象徴的

な都市空間としての路地空間の文学的表象」

エヴリン・シュルツ（ミュンヘン大学日本センター日本学教授）

- 第 70 回（12 月 15 日）「人権侵害としての世界的貧困」
トマス・ポグゲ（イエール大学教授）
- 第 71 回（12 月 22 日）〈シリーズ：多文化共生の未来とジレンマ〉
「「外国語」教育と言語観：「道具としてのことば」の使用上の注意」
仲 潔（岐阜大学教育学部准教授）
- 第 72 回（1 月 12 日）〈シリーズ：多文化共生の未来とジレンマ〉
「外国人集住地域における警察のとりくみと語学業務」
千葉県警察外国人集住地域総合対策担当者、国際捜査課課員
- 第 73 回（1 月 17 日）「働くことの意味」
勝西良典（上智大学文学部哲学科講師）
- 第 74 回（1 月 21 日）「「プロフェッショナル」としての翻訳者入門」
井上 泉（マッコーリー大学大学院言語学部講師）

その他のシンポジウムなど

- 第 2 回国際シンポジウム「ビジネス・エシックスを多角的に考える——
グローバルゼーションとの関わりをめぐって」
（2010 年 7 月 2 日・3 日、於：神田外語大学ミレニアムハウス）
- 東南アジアの医療福祉事情研究会（全 3 回）
第 1 回「インドネシアの医療・福祉の諸相」
（2010 年 7 月 24 日、於：東京外国語大学本郷サテライト）
第 2 回「フィリピンの看護・介護事情」

異文化コミュニケーション研究 第23号(2011年)

(2010年10月16日、於: TKP 東京ビジネスセンター)

第3回「東南アジアの医療・福祉の諸相」

(2011年1月29日、於: TKP 東京駅日本橋ビジネスセンター)